

OMC事務局 〒560-0085 豊中市上新田4-16-1-33 合原 一夫 TEL06-6833-9227
広報編集局 〒573-1171 枚方市三栗1-18-20 前田 茂夫 TEL072-850-5781

平成13年3月(2001年) No. 423

盛会だったノンリニア編集研究会 藤原世話役が判りやすく解説

去る2月24日(土)朝10時より17時まで、藤原世話役が自ら機器を持ち込んで、ノンリニアの初歩についての勉強会を行いました。予想を上回る23名の受講者が集まり熱心に受講しました。今までノンリニア編集についての初歩的な知識さえなかった人にとって、おぼろ気ながらもどういふものか感触を掴めたように思います。あとは実際に自分が機器を買ってノンリニアを始めるかどうか、という決断と、始めたときに、どう経験者の知識を借りて習熟していくか、という熱心さの度合いが成否を決めるのではないかと思います。とにかく、成果の大きな研究会でした。ほとんど無償で講師を引き受けて頂いた藤原さんに改めて感謝の意を表したいと思います。有り難うございました。また朝から夕方まで熱心に受講していただいた皆様、まことに疲れさまでした。これを機会に益々ノンリニアのことに関心を持って接していただきたいと思ひます。

柳川撮影会に、なんと23名の申し込み

来る3月17日(土)~18日(日)の柳川雛祭り撮影会には、予想の2倍近くの申し込みがあり、嬉しい悲鳴をあげております。幸いホテルの予約もすべて取れましたので、あとは当日のお天気を祈るばかりです。水上パレードは小雨決行なので、お天気具合によっては雨具の用意も必要になります。雛飾りなどは室内撮影が多いので、雨天でも大丈夫です。ライティングの必要はないくらい、被写体は明るいところが大半です。参加者は朝7時半新大阪駅21番ホームに遅れないように集まってください。

3月例会のお知らせ

3月例会は24日(土)18時より、阿倍野市民学習センターにて開催します。今月は午後の作品研究会はありません。例会にはどうぞ作品をお持ちになってお越し下さい。お待ちしております。

■新入会者紹介

増池さんの紹介で次の方が2月例会より入会されました。

- ・久一^{ひさいち} 敏正さん TEL06-6681-6581
〒559-0013 大阪市住之江区御崎7-9-3
E-Mail: hisaichi@db3.so-net.ne.jp

(自己紹介) パソコンはやっているが、ビデオは孫などの家族を撮っている程度ですが、これから勉強したいのでどうぞよろしく。

2月例会のレポート

例会日の24日は、朝からあいにくの小雨模様の日でしたが、10時から開催したノンリニア編集の研究会の余波もあったのか、何と27名の例会出席者となり、あわてて補助椅子を入れるほどでした。会場も冷房を入れないほどの室温上昇で熱気に包まれた例会でした。司会は安居氏、書記は合原氏、デッキ係、渡辺、藤原の両氏、受付兼照明係は増池氏の担当で進行しました。

■出席者：有村、岩井、今井、江藤、江村、勝、金子、河合、関、玉井、那須、中尾、西村、藤原、前田、増池、松本、宮崎、森口、森下、渡辺、森、安居夫妻、吉岡、久一(新入会者)、合原の27名。(敬称略)

■上映作品(今月の短評は合原会長です)

1. ネパール紀行・寺院を巡る 有村 博さん 10分0秒

作者のネパール紀行の一つでカトマンズやその周辺の町に点在するいろいろの宗教の寺院を訪ね、細かく撮影されていました。解説も適切で、判りやすかったと思います。火葬のシーンは相当ショッキングな映像ですが、作品全体として暗くならないよう短か目に納め、そのあとに男女のむつみ合いの木彫を飾ってある寺の紹介で、明るさを取り戻しエンドに持ち込むという構成をとられています。あの木彫のシーンをもっと見たいという声が会場から上がりました。そのうち、あの木彫だけの作品を見せてもらえる「幸運」がやってくるでしょうか……。

2. 甲賀の里・今様忍者考 玉井 勺さん 6分28秒

ノンリニア編集で、トップからアニメーションみたいな効果を持つマンガ絵をうまく取り入れて忍術の故郷・甲賀の里を紹介されています。後半は実写で、ユーモアのある忍者ゴッコ競技?のイベントを描いておられます。イベントそのものは楽しい催しですが、本作品の映像としてのねらいがどこにあるのか、はっきりしないのが残念です。題名の「…考」というからには、作者なりの「今様忍者考」が欲しい気がします。

3. 競演よさこい祭 吉岡 貞夫さん 8分41秒

よさこい祭の作品は今までに多くの人の作品が発表されていますが、この吉岡作品も3作目だそうです。緩急折り混ぜての構成と躍動感あふれる映像はさすが作者ならではのものがあります。現地音だけで音処理されているのも現場の雰囲気判ってよかったと思います。若者のエネルギーを発散させている躍動感に対し、インサートの観客の描写があいまいなのは惜しまれます。むしろ年輩者のあっ気にとられている顔の表情などがあれば、「対比」として生きてきたのではないかと、という気がしました。

4. カナダ犬ぞりに乗って 勝 成忠さん 5分0秒

オーロラ観光ツアーでお正月にカナダのイエローナイフという町へ行ってきたが、目的のオーロラがよく見えず、撮影もとく撮れなかったが犬ぞりに乗ったときの記録をまとめたという作者の弁がありました。白銀の大平原を数頭の

犬が、2名を乗せて引っ張って走るシーンは雄大で、珍しい題材でした。零下40度にもなるという北国での撮影には、いろいろとご苦労があったものと思われます。

5. 趣味のドラム その1 江藤洋司さん 10分44秒

お若い江藤さんが、ビデオの他にドラムの趣味もあったとは初めて知りました。ロシアのハバロスクへ再度訪問されるのに備えて、ドラムの練習をしておられるのを窓越しに撮られています。カメラを三脚に固定してご自分を撮っておられるので、教えている先生の姿がないのは残念です。それとハバロスクへ行ってから、折角の練習成果を活かす場がなかったことで、この作品で何を表現したかったのか不明なのが惜しまれます。作品の構成をしっかりとやり直したらいい作品になる筈です。それにしても短期間にノンリニア編集をやらせ、映像もしっかり撮られるようになった努力と上達には脱帽です。これからも頑張ってください。

6. 秘境にチベットにラマ教寺院を訪ねて 河合源七郎さん 12分31秒

まさに秘境チベットの珍しい情景を見せて頂き、行ったことない私達もチベットの雰囲気に触れたような気がしました。ラマ教寺院などの解説も判りやすく良かったです。最初に中国や我が国の寺やカルカッタの沐浴などの画面がでてきましたが、これらは無くてもよかったのではないかと思いました。比較論であれば時間的にも中途半端になるので、よほど構成をしっかりと練らないと、かえって混乱します。いい作品だけに再検討してみてください。しばし宗教の話題で白熱、時間を気にしながら休憩。

7. 星のブランコ 安居良枝さん 6分30秒

星のブランコとは、交野市にある長い吊り橋の名前だそうです。この作品は夫婦の会話形式で構成されています。会話形式をアマチュアがやるのは大変難しいものです。どうしても会話に自然らしさが出てこなくて、硬さが出たり、原稿を読んでマス、といった感じになるものですが、この難しさに敢えて挑戦されています。ややぎこちない感じはありますが、まあまあ合格といったところでしょう。体の弱い作者も歩き疲れてかなりしんどかったようです。お疲れさまでした。

8. 住吉石灯籠こぼれ話 安居利次さん 7分45秒

例によってよく調べて、しっかりした脚本にもとづいて撮影しておられるので、大変わかりやすく、つい見過ごしてしまう石灯籠も、立派な作品になるものだと感じました。目のつけどころが違うとの場内からの声でした。

9. 三春駒の里 合原一夫さん 7分20秒

福島県三春町は、和紙で作った干支人形、張り子の虎、ダルマ、天狗の面等の民芸品を生産して全国へ出荷している町です。秋から年末にかけては特に多忙な日が続きます。”三春駒”は、いわゆる馬の駒だけでなく三春町で生産している民芸品全般の製品を総称するブランドのようです。

作品は晩秋の頃、ここを訪ねて民芸品づくりの様子を撮影したもので、作者にしては数少ないテロップだけの説明でノンナレ作品でした。

10. 秋祭り 中尾雅博さん 7分0秒

播州・大塩天満宮の夜の祭り風景ですが、大変明るく撮影されていました。聞けば VX-1000 で 50 ワットのライティングが使われたそうです。けんか祭りの一種で、みこしがぶつかり合いするのが山場ということでしたが、おだやかなぶっつけ合いで終わりました。こういう作品にはナレーションが欲しいという声がありました。撮影はさすがに中尾さんだけにしっかりと撮られており、確かな腕前だと関心しました。

1 1. 室生旧道をゆく 森口吉正さん 7分26秒

こういう紀行ものは森口さんお得意の分野で、安心して拝見することができます。解説も適切で大変判りやすく構成されています。室生寺の五重の塔も台風で傷んだところもすっかり修復されてきれいになっています。

室生の里の生活の一端も描かれていて、しっとりとした情感がただよって作品の奥行きを深めていました。

1 2. 余呉冬景色 宮崎紀代子 3分8秒

昼間行われたノンリニア編集の研究会で、勉強しながら作られた作品を早速夜の例会で披露されたものです。余呉の映像は昨年のOMC余呉撮影会のもので、今年ほどの雪はありませんでしたが、それでも冬の余呉の風情は、よくマッチしたBGMと共に、良い作品に仕上がっていました。これも研究会の成果ですが、今後もどうぞ頑張ってください。

以上で例会作品上映を終わり、居酒屋組と喫茶店組とに分かれて二次会場へと席移しました。

■公開映写会のお知らせ

◎3月25日(日)14時30分～、寝屋川映像フェスティバル、会場：寝屋川市立総合センター：京阪寝屋川市駅より京阪バスで総合センター前下車。

◎4月8日(日)13時30分～、OVC映像フェスティバル(別途案内有)

■インターネット関連

2月22日サンケイ朝刊の記事では次のように載っていました。:

100メガビット超高速ネット NTT 今春から「月額1万円、光ファイバーで」

NTTグループは二十一日、毎秒百メガビットの光ファイバーによる一般家庭向け超高速インターネット通信を今春から、月額1万円程度で提供する計画を明らかにした。現行の電話回線の約二千倍もの通信スピード。現在、大阪市内などで十メガビット通信を月額1万3千円で試験中だが、本格商用サービスに衣替えし、

①十メガ型を半額以下に値下げ

②上位メニューとして百メガ型を追加

という二段式で増強する。大阪と東京からスタートし、平成十七年までに全国主要都市に拡大する予定。

高速ネット網は、INS-D → CATV → ADSL → 光ケーブルの順で普及していきますが、光ケーブルによるインターネット映像はテレビと大きさ・美しさは同じなので、光ケーブルネット網の実現は、意外に早まりそうな状況が見えてきたことは喜ばしいことです。

VIDEO 2月のインターネット例会作品紹介

「甲賀の里・今様忍者考」玉井 匀作品(画像をクリックしてください、スタートします。)

No	Real Video5.0	for 28K modem	1179KB 6分28秒
1			